

◎主な研究成果のご紹介

◆県産牛への飼料用米利用拡大に向けて

- 【目的】黒毛和種肥育牛への粗米 SGS 給与と肥育期間の短縮で生産コストを削減する
- 【結果】粗米 SGS30%代替・出荷月齢 27 か月でも、枝肉重量に優れた牛肉生産が可能
- 【今後】飼料用米給与・肥育期間短縮での省力的なビタミンコントロール技術を検討



飼料用米給与試験と粗米SGS

◆受精卵の効率的な生産のために

- 【目的】精子を直接注入し確実に受精させる顕微授精技術を開発する
- 【結果】顕微授精技術による子牛の生産に成功した
- 【今後】割球分離技術と組み合わせた一卵性双子生産に取り組む



ガラス管により精子を注入する顕微授精技術

顕微授精技術で産まれた子牛

◆より美味しさとこだわりをもった地鶏生産のために

- 【目的】地鶏購買層に訴求力のある特徴をもった青森シャモロックの開発
- 【結果】歯応えと機能性成分の高い、差別化された新たな青森シャモロックを開発した
- 【今後】遺伝子解析技術および飼養管理等による付加価値を高める鶏肉・鶏卵生産技術の検討



青森シャモロックの飼育試験

◆自給飼料増産のために

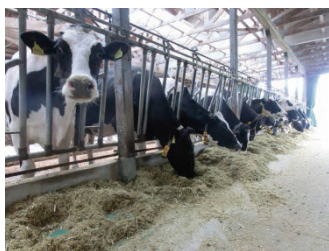
- 【目的】新たな高タンパク質飼料作物(ガレガ、飼料用大豆)の栽培技術の確立
- 【結果】大豆 WCS の収穫時期は 10 月上旬～中旬が適当である
- 【今後】本県に適した播種適期、リビングマルチを検討する



ガレガの生育状況

◆乳牛を健康的で長生きさせるために

- 【目的】県内初産牛の死亡・廃用率を低減させる
- 【結果】初産牛は経産牛と比較して分娩時のストレスレベルが高い
- 【今後】ストレス軽減が図れる飼養環境を具体化する



乳牛の飼養環境調査

◆優良種雄牛の作出と全国評価の向上を目指して

- 【目的】優良な黒毛和種種雄牛を作り出し、本県和牛の市場評価を高める
- 【結果】「平安平」産子が子牛市場に上場され高評価を得ている
- 【今後】さらなる高能力種雄牛を作出するとともに、全国レベルの品評会での上位入賞を通じて、本県和牛の品質の高さをPRする



基幹種雄牛「平安平」と現場後代検定調査中の枝肉 (BMSNo,12)

◎その他の試験・研究・調査のご紹介

- ◆黒毛和種におけるゲノム解析
- ◆短期連続採卵技術による優良雌牛増産技術の確立
- ◆日本短角種の種雄牛の生産
- ◆牧草・飼料作物の奨励品種の選定
- ◆畜舎内悪臭除去、廃棄乳処理技術の開発